

## 編集後記

第5回京都在宅リハビリテーション研究会研究集会は平成23年3月21日に行われました。冒頭で、その10日前に生じた東北地方太平洋沖地震で亡くなった方々に対し黙祷をささげました。

それから一年、“悲惨なこと”、“やるせないこと”、“心温まること”、“憤りを覚えること”など、様々な出来事があり、そして現在も続いています。

「がんばろう、日本」

素晴らしい言葉です。

では、「誰が」、「何を」、「どのように」、「がんばる」のでしょうか？

誤った情報で先導されて、誤った方向に頑張れば、先の大戦と同じ結果になってしまいます。

『clever』、賢くなるのはどうでしょう？

「一人ひとりが」、「情報を」、「吟味して」、「賢く」なるために、がんばる。

与えられる情報では、賢くはなれません。賢くなるためには、自ら情報を得ようと努力しなければなりません。スウェーデンやイギリスの医療・福祉はどのようになされているのか？税金はどうなっているのか？政治家の報酬はいくらか？年金は？色んな人が色んな意見をもって情報を発信しています。その中には、“古い情報”、“誤った情報”、“最新の情報”、などの様々な情報があります。これらを自分の中に一旦取り込み、理解し判断し整理して、記憶していく作業をしなければ賢くはなれないのです。

一人ひとりが賢くなれば、色んな意見を出し合って、誤ったシステムを正し、より良いシステムを構築し、世界に誇れる日本を作る頑張り方を考えることができるでしょう。

「がんばろう、日本」

平成23年12月1日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人 代表 松本和久

京都在宅リハビリテーション研究会

第5巻

©平成23年12月1日発行

編集者

京都在宅リハビリテーション研究会事務局

(松本和久, 木村篤史, 富田健一, 永山智貴, 小西倫太郎, 林 愛子,  
神田佳明, 松本 渉, 垣村将典)

発行者

松本和久

〒629-0392

京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

TEL (0771) 72-1221

印刷所

光和印刷